南中便り

The Letter from Minamiōsawa!

善良 勤勉 協力

令和8年11月6日
第 5 号
南大沢中学校

「行事や体験活動を通して育つ力」

副校長　　長友　亨元

10月9日(金)、第 44 回合唱祭を開催しました。学校行事ということで、どのクラスも心をひとつに、ここまで積み重ねてきた練習の成果を披露することができました。

1年生は、中学校初めての合唱祭で、元気いっぱいの素晴らしい歌声を届けることができました。2年生は、確かな成長を感じさせ、力強く、まとまりのある合唱となりました。3年生は、発表前に学年全員で円陣を組みました。中学校最後ともあって深みがあり、迫力のある歌声をホールいっぱいに響かせることができました。また、はじめての取組である柏木小、南大沢小の6年生児童の皆さん、保護者の皆様や地域の方々を含め、会場全員で「ふるさと」を歌唱し、ホールが温かい歌声に包まれ、感動的なフィナーレを迎えることができました。お陰様で多くの方々に見守られる中で、生徒たちがこれまでの成果を十分に発揮できたこと、また、この合唱祭で生徒たちの達成感に満ち溢れた笑顔を見ることができましたことを心より感謝申し上げます。

この合唱祭を通して、生徒たちは仲間と心を合わせてひとつの合唱をつくり上げる過程から、協調性や表現力、達成感を十分に味わうことができたと思います。

行事や体験活動には、教科の枠を超えた力を伸ばす教育的な価値があります。仲間と協力し、意見の違いを理解し合いながら、試行錯誤を重ねて一つの目標に向かう経験は、協働する力や課題を解決する力、他者を思いやる心を育みます。

先日、実施した河口湖移動教室を通して、1年生は、ほうとうづくりや洞窟体験、樹海探検、実行委員企画のレクリエーション、鹿革クラフト体験などの体験活動に取り組みました。集団生活の中で互いに支え合い、自分の役割を果たすことを通して、自立心や協調性、規範意識を養うことにつなげることができました。2年生は STEAM 教育の一環である南大沢地域の謎解き街歩きマップの作成に向けてのフィールドワークを通して、地域の一員としてよりよい社会づくりに関わろうとする態度の育成へとつなげています。3年生の京都奈良の修学旅行では、多くの文化遺産に触れたり、薬師寺での法話、奈良公園、東大寺大仏殿の見学、京都市内班別行動に取り組みました。計画的に行動し、仲間と協力しながら主体性や判断力、他者を尊重する心を育てることにつなげることができました。これから予定している2年生の職場体験では、働くことの意義や社会とのつながりを実感し、礼儀や責任感、将来の生き方を考える力を育んでまいります。

人と人とのつながりが、ますます重要になるこの時代だからこそ、行事や体験学習の存在意義は大きいといえます。情報や知識を得る機会が広がり、生活様式や価値観が多様化する一方で、異なる考えをもつ人と直接関わり、お互いの思いを伝え合い、折り合いをつけながらひとつのものをつくり上げるような経験は、何にも代えがたい宝物となります。行事を通して、思いどおりにならないことや意見の対立に直面しながらも、仲間と対話し、試行錯誤を重ね、共に乗り越え創り上げていく経験ができる貴重な場となります。こうした経験を通して、他者を尊重する心、自ら考え行動する力、困難に向き合う力、そして、集団や社会の一員として貢献する力を育んでまいりたいと思います。











「生成 AI を正しく活用するために」

何かを調べたり、参考にするときに、生成 AI を活用することがだんだんと日常生活の一部となっています。生成 AI は、学びや生活をより便利で豊かなものにする可能性をもっています。一方で、誤った使い方をしてしまうと、個人情報の流出や誤った情報に振り回されたり、著作権の侵害、さらには、人を傷つける行為になってしまったり、また、自分の力で考えることができなくなってしまうことにつながりかねない危険性もはらんでいます。

先日の学校運営協議会では、生徒の生成 AI の活用についての話題があがり、活用する際には、次の4つのことを大切にしてほしいというお話をいただきましたので、ここで共有させていただきます。

○「個人情報を入力しない」こと。

自分や友達の名前、住所、写真など、個人を特定できる情報を安易に入力してはいけません。よい面でも悪い面でも自由に使われてしまいます。

○「AI の答えに対して必ず自分の考えをぶつける」こと。

AI が出した答えをそのまま受け入れるのではなく、「本当にそうなのか」「自分はどう考えるのか」と最低3回は、AI に問い返すことが大切です。生成 AI のいいなりになってしまわないためにも、自分自身の考える力を退化させないためにも、AI を使うからこそ、意識してほしいと思います。

○「人を傷つけたり、悪いことに使ったりしない」こと。

便利な道具であっても、使う人の責任がなくなるわけではありません。相手を思いやり、社会のルールやモラルを守って利用しましょう。また、生成 AI も使う人が悪い人と認識して学習してしまうと悪い情報ばかりを提供するようになるそうです。

○「年齢制限や利用上のルールを守る」こと。

生成 AI にはサービスごとに利用条件があります。年齢制限も含め、定められたルールを確認し、正しく利用することが大切です。

現在行われている次期学習指導要領に向けた議論においても、AI を含めた「情報活用能力の育成」が重要なテーマとなっています。生成 AI を「使える」ことが最終目標ではありません。そこで得られた情報をしっかり吟味し、自分で考え、判断し、表現する力を育てることが、これからの学びにおいてますます重要になります。

保護者の皆様におかれましても、ご家庭で生成 AI を利用する機会がありましたら、ぜひ、お子様と一緒に「何のために使うのか」「AI の答えをどう受け止めるのか」について話していただければと思います。

ただ安易に AI に答えを委ね、求めるのではなく、AI をあくまでも一つの道具として正しく活用しながら、自分の頭でしっかり考え、判断し、自分の言葉にして表現する。このような力を、学校と家庭が一緒になって育んでいきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

祝　南中生の活躍

やったー

卓球部

令和8(2026)年度　八王子市中学校新人卓球大会の結果より

２ 年男子シングルス ２ 名　都大会出場決定！

演劇部

10/31　芸能祭にて出演　　南大沢文化会館

都大会出場決定！

駅伝部（臨時結成）

11/1　令和8年度八王子市中学校駅伝競走大会

男子10位･女子18位